

「青森県の裁判員裁判——これまでの10年間を振り返る」

2019年

11月3日(日) 14:00-17:30

会場：弘前大学人文社会科学部多目的ホール
(文京キャンパス内)

入場無料・事前申し込み不要

●プログラム

第1部 裁判員裁判10年の成果と課題

報告者：平野 潔 (弘前大学人文社会科学部)
宮崎秀一 (北里大学教職課程)
飯 考行 (専修大学法学部)
古玉正紀 (青森地方裁判所)

第2部 裁判員経験者が感じた裁判員裁判

登壇者：裁判員経験者
進 行：平野 潔 (弘前大学人文社会科学部)

第3部 市民・法曹の目から見た裁判員制度

パネリスト：裁判員経験者
古玉正紀 (青森地方裁判所)
吉武恵美子 (青森地方検察庁)
竹本真紀 (青森県弁護士会)
学生、社会人など
コーディネーター：飯 考行 (専修大学法学部)

趣旨：裁判員制度が施行されて10年が経ちました。本シンポジウムでは、法曹三者、市民（裁判員経験者）、研究者それぞれの目に裁判員裁判がどのように映っているのか、10年目を迎えた裁判員制度の成果と課題は何かを検証していきます。その上で、次の10年に向けて、裁判員制度をどのように育てていくべきかを参加者を交えて議論したいと思います。

主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター、人文社会科学部

問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部・平野 潔
tel & fax：0172-39-3199
e-mail：k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

地域未来創生センター
Regional Future Creation Center



弘前大学